

西大和つうしん

2017年3月号
No.417



高見山に至る桃俣コースで雪山歩行訓練 <2017年1月22日>

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第417号(2017年3月号)

【目次】

3月度山行計画	1
4月度山行計画(案)	2
3月度・4月度カレンダー	3
山行・行事等参加メモ	4
山行報告	
・教育山行 《1/22》 台高の山 高見山桃俣コース(島崎)	5
・例会山行 《1/29》 比良の山 ヤケ山～ヤケオ山(勝尾)	6
・初級学校 《2/4》 奥美濃 大日ヶ岳(野路)	7
・例会山行 《2/12》 台高の山 高見山(船江)	9
運営委員会だより(1/15)	10
室内例会だより(1/25)	10

3月度山行計画

～二年前のリベンジ山行で、琵琶湖の大展望を～

例会山行1 比良の山 《堂満岳 1,057m》

【日程】 3月5日(日) (L辻)

【集合】 王寺駅 6:50 (JR大和路線 7:00 発大阪行きに乗車)
王寺(7:00)⇒大阪(7:39/7:45)⇒比良(8:58)

【コース】 比良駅～(50)～イン谷口～(2h10)～金糞峠～(50)～堂満岳～(1h30)
～ノタノホリ～(40)～イン谷口～(40)～JR比良駅

※歩行時間 約7時間

～秀麗で展望が良い早春の千ヶ峰に登りましょう！～

例会山行2 中国山地 《千ヶ峰 1,005.2m》

【日程】 3月12日(日) (L田中悦)

【集合】 上牧役場前駐車場 7:00 出発

【コース】 三谷登山口～(25)～七不思議コース登山口～(30)～塔の岩
～(40)～稜線～(25)～雨乞岩～(20)～千ヶ峰頂上～(25)～雄滝
～(35)～三谷登山口

※帰宅時間 17:30頃

4 月 度 山 行 計 画 (案)

～早春の金剛山へ、一般参加の方も楽しみながら～

公開山行 (例会山行1) 金剛山地 《金剛山山頂広場 1120m》

【日 程】 4月2日 (日) (L林)

【集 合】 会員：上牧役場前駐車場 7:30 発、一般：近鉄五位堂駅北口 8:00

【コース】 青崩登山口 8:30～(青崩道/1h30)～セト分岐～(40)～カトラ谷出会～
(カトラ谷を登る/1h30)～葛城岳 (頂上広場)～(30)～セト分岐～(30)
～黒谷分岐～(1h15)～青崩登山口

※歩行時間 約6時間

※五位堂駅解散 16:00 頃

例会山行3 (教育山行)： 第1回 (座学・実技山行)

【日 程】 座学：4月13日 (木) 19:30～ (講師：藤本)

実技山行：4月16日 (日) (L藤本) 行先は座学時に決定

※内容詳細は検討中

～鎌ヶ岳から大迫力の鎌尾根を歩こう！～

例会山行2 鈴鹿の山 《鎌ヶ岳 1,161m》

【日 程】 4月23日 (日) (L藤井)

【集 合】 上牧役場前駐車場 6:30 出発

【コース】 宮妻峡～(2h)～岳峠～(10)～鎌ヶ岳～(10)～岳峠～(1h30)～水沢岳～
(15)～水沢峠～(45)～水沢峠登山口～(林道/35)～宮妻峡

西大和山の会 カレンダー

3月		4月(案)		
1	水	1	土	
2	木	2	日	公開山行 金剛山(林)
3	金	3	月	
4	土	4	火	県連・理事会
5	日	5	水	例会山行1 堂満岳(辻) / 県連総会
6	月	6	木	
7	火	7	金	県連・理事会
8	水	8	土	
9	木	9	日	
10	金	10	月	
11	土	11	火	
12	日	12	水	例会山行2 千ヶ峰(田中悦)
13	月	13	木	教育座学
14	火	14	金	
15	水	15	土	
16	木	16	日	例会山行3(教育山行)
17	金	17	月	
18	土	18	火	
19	日	19	水	西大和つうしん原稿締切
20	月	20	木	
21	火	21	金	
22	水	22	土	
23	木	23	日	例会山行2 鎌ヶ岳(藤井)
24	金	24	月	
25	土	25	火	
26	日	26	水	総会/3月度室内例会
27	月	27	木	4月度室内例会
28	火	28	金	
29	水	29	土	
30	木	30	日	
31	金			

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	2/22 室内 例会	例会2	例会1	例会2	総会 3/26	公開	例会3	例会2	
			2/26 竜ヶ岳	3/5 堂満岳	3/12 千ヶ峰		4/2 金剛山	4/16 教育	4/23 鎌ヶ岳	
1	(窪田)									
2	都築									
3	藤井		○	○	○					
4	(石田)									
5	多賀				△					
6	田中悦			○	L◎					
7	島崎		LO		○					
8	田中初				○					
9	村田									
10	林		○		○					
11	辻			LO	◎					
12	勝尾		○		○					
13	藤本									
14	杉村		○							
15	高橋									
16	玉越									
17	杉川									
18	阪口									
19	橋本		○		○					
20	今井			○	○					
21	亀高			○	◎					
22	松浪									
23	亀井									
24	船江			○	○					
25	野路		○	○						
26	中		○	○	○					
27	杉森			○	○					
28	上田		○							
29	永井									
	合計									
	緊急 連絡先		辻	島崎	藤本					

L:リーダー、○:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

山行報告

教育山行（雪上歩行）

台高山脈 桃俣ルート高見山 1,248.4m

【日 程】 1月22日（日） 晴れのち曇り時々吹雪

【参加者】 L今井・SL杉川・島崎・林・高橋・橋本・亀高・船江（8名）

【コース】 上牧P(6:30)～高角神社前P(8:30)～天狗山 993m～三峰山・高見山分岐(10:45)～高見山(12:00)～昼食(12:10/35)～三峰山・高見山分岐(13:12)～天狗山(13:40)～高角神社前P(14:40)

教育山行の終盤、木曜日の座学で桃俣側よりの高見山に行くことになった。今日は晴れであるが、風が12.3mとかなり強い予報であったが、登り始めは天気も良く、風もなく、天気予報とは違って快適である。しかし天狗山前後よりやはり、風が出てきた。

三峰山・高見山分岐にて、先に行っていた人が引き返すとの事、時間も

まだ早く意味が良く分かりません。ここから雪が多くなり、登るに連れて、雪が深く、足元がはまるが、注意しながらのぼる。樹氷も見えてきたし、だんだん高見山の雰囲気らしくなってきた。アップダウンを繰り返して、高見山山頂を眺めながら、高見山到着。風が強く、早々に写真を撮ってもらい、昼食タイムではあるが、避難小屋に入れず、やむを得ず少し下って、風が少しでも避けられるところで行動食を取って簡単に済ませる。下山はアイゼンを付けるが、手がかじかんできだして、なかなか手間取る。元来た道を注意しながら、下山する。

下りはやはり早い。雪道なので、足に負担がかからず、下って行く。三峰山・高見山分岐辺りから雪が降ってきた。ここでアイゼンを外して、下って行く。風が強く、吹雪いてきた。下り道が意外と長く、途中、4・5回滑りながら下ってやっと無事下山。

登山口駐車場で、リーダーの用意してくれたぜんざいを美味しく頂きました。ありがとうございました。

（記：島崎隆）



例会山行 2

比良の山 ヤケ山～ヤケオ山

【日 程】1月29日(日) 晴れ後曇り後雨

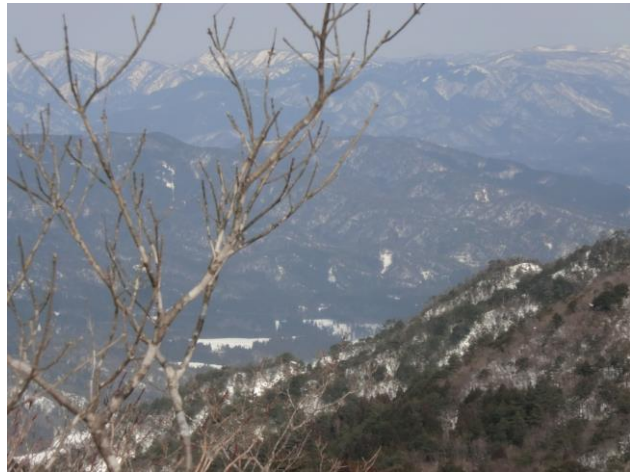
【参加者】L 藤井・SL 林・島崎・勝尾・野路・中・杉森(7名)

【コースタイム】北小松駅(9:10)～慕の橋(9:45)～涼峠(10:40)～ヤケ山(11:35/50)～ヤケオ山頂手前(12:40/13:20 昼食)～ヤケ山(14:00)～涼峠(14:55)～慕の橋(15:30)～北小松駅(16:16)

湖西線を北に進むにつれ、窓の外は綺麗な雪景色に変わっていく。先週の大雪で積もった雪が、降車したホームにも高く積み上げられ残っていた。山にもしっかりと積もっている事だろうと期待しながら、さあ出発。

線路の高架を潜り舗装された坂道を登る。35分で慕の橋に到着。橋の右手を登ると楊梅の滝があるが、帰りに時間の余裕があれば寄る事にして橋を渡り登山口へ。最初から急登だが、たっぷりの雪は締まっていて、トレースも付いているので歩きやすい。第1、第2の滝見台を過ぎ涼峠へ向かう。人も少なく静かで、周りの雪も新雪の様に真っ白で綺麗なのが嬉しい。寒風峠との分岐の涼峠を過ぎヤケ山へ。

ヤケ山の山頂に出ると一気に視界が開け、雪を抱いた比良の山々、特に山頂が真っ白な武奈ヶ岳、湖北の山々、そして遠く微かに伊吹までもが見える雪山の展望はすばらしかった。そこからヤケオ山へは一旦下り急な尾根を登る。時間の関係でヤケオ山頂の手前で引き返すことになり、なだらかな雪の斜面で昼食にする。風が無く、眼下に広がる琵琶湖、遠くの伊吹山、霊仙山を眺めながら贅沢な昼食タイムだった。食事後、アイゼンを装着して同じ道を下山する。朝には青空も覗いていたが



昼頃には曇り空となり、ヤケ山を過ぎた頃にポツポツと降り出してきた。最後は雨具を着けての下山となったが、久しぶりに訪れた比良は穏やかに迎え入れてくれて、楽しい山行ができた。

王寺で反省会も用意していただき、1日楽しい時を過ごせました。リーダーさん、皆さん、色々お世話になり有難うございました。

(記：勝尾栄美子)



県連初級登山学校（ハイキングリーダー学校）
第6回実技山行（修了山行）・テーマ「雪山登山」

奥美濃 大日ヶ岳 1,709m

- 【日 程】 2月4日（土）〔快晴〕～5日（日）〔雪と雨のち曇り〕
【参加者】 ◆講師：中武佳史（CL・奈良労山） ◆スタッフ：藤本（SL）・杉川
◆受講生：野路 // T.O.（奈良労山）・A.Y.（奈良 HC）・N.K.（こぶし）
◆修了生 OB：藤井・今井〔西大和5名、他4名、計9名〕
【コース】 2月4日（土）：和み舎ひるがの(8:18)～大日ヶ岳登山口(8:30)～送電線鉄
塔下(8:55/9:30)～いっぶく平(12:00)～大日ヶ岳(15:10/30)～高鷲スノー
パーク SP ゴンドラ・山頂駅(16:10/24)⇒ゴンドラ・センターハウス駅(16:35)
～和み舎ひるがの(18:20)〔泊〕
2月5日（日）：車にて五箇山合掌の里等を観光後、砺波市の「きときと
寿司」にて昼食、帰途につく。

県連初級登山学校の最後の雪山山行。ハイキングリーダー学校史上、初の泊り山行とのこと。行き先は奥美濃の「大日ヶ岳」と早くから決まっていた。昨年3月、県連の雪山登山講習会の参加者対象に自主山行が企画され、参加させて頂いた山だった。



大日ヶ岳は「美濃・飛騨・越前」の三カ国の国境にあり、古くから三国山とも呼ばれ、元々は「福井県」に属していた石徹白村が、昭和の大合併(昭和33年)の際、現在の郡上市に越境合併され岐阜県に属することになったそうだ。また日本海と太平洋に注ぐ河川の分水嶺でもある。福井出身の私に何かしら縁のあるような、この大日ヶ岳に再び登る事ができ、また昨年見たあの大パノラマを見ら

れることに・・・教育山行なのに・・・とてもワクワクしていた。

4日の深夜0時、集合場所を出発。少し仮眠をとって、朝7時頃にひるがの高原「和み舎ひるがの」に着いた。朝食を済ませ身支度をして出発。割と暖かい朝。快晴に恵まれ、コバルトブルーの空、真白なフワフワの雪に朝の光が射してキラキラと輝き、まるで宝石箱の中にいるような・・・

登山口まで来ると、足跡はあるものの1m以上の積雪の中、ラッセルも必要なようだ。最初に先頭を歩くことになった。現在地が分かりやすい鉄塔まで約40分。

ここで「大日ヶ岳」までの所要時間を出すことになった。教わったことなのに中々ピンと来ない。何となくは分かるが自信がない!! 勉強不足だ!!



鉄塔を過ぎ暫く進むと、やがて急登になり、雪が益々深くなってきた。時々足が深く取られ、抜くのにかかる、1273mのピークまでは急勾配の尾根を進む。思ったより時間がかかった。ピークを過ぎ、西の方向に緩やかな尾根を進むと、いっぴく平に出る。この辺りから疲れが出始め、女性と男性に分かれて女性陣が先行することになった。さらに南西に進み、また急勾配を登ると広い展望台になる。昨年



白山連峰



年はここで「昼食とティータイム」をしたが、今年はそんな余裕はなかった。ここまでラッセルを交代しながら進んできたが、昨年とは違い雪が深いため、女性陣もかなり疲労していた。頂上も目前になってきたので、各自マイペースで、頂上を目指すことにした。前を行く人、後ろを振り返れば男性陣が登って来る。全メンバーが見え、別々に進んでいても全く心配や心細いことはなく、最後の急斜面を登って頂上へ。予定時間より、1時間遅れの3時過ぎに到着。昨年以上の展望だ!!

目の前に白山連峰、荒島岳、木曾御岳、乗鞍岳、更に北アルプスの山々・・・空はどこまでも青く澄み渡り・・・白い柔らかい雪・・・青と白のコントラスト・・・絵葉書のように美しい雪化粧の峰々。あまりの美しい眺望に、ただただ感動していた。これが雪山の魅力なのだ!!

前大日ヶ岳を経てスキー場の Gondola まで 40 分ほど。中武さんより、一気に駆け下る方法を学び、横一列に並んで皆で駆け下りた。子供のようにはしゃいで楽しい下りだった。Gondola で下り、高鷲スノーパークからラッセルのない長い長い林道を宿舍まで歩いた。

翌日曜日は、雪の五箇山合掌の里を訪れ、素朴でどこか懐かしい原風景を楽しんだ。富山から北陸道を通して帰路についた。

◆◆◆1年間を振り返って◆◆◆

県連初級登山学校に行かせて頂いて、沢山の事を学び、この雪山山行を最後に修了となりました。この学校では、これまで想像もしなかったこと、全く知らなかったことも沢山教えて頂き、本当に良い勉強になりました。その中で一番私が変わった所は「登山に対する意識」です。

これからは登山学校で教えて頂いた事を基礎に、また自分なりに勉強、復習を重ねて、実りあるものにしていこうと思っております。お世話になった皆様や会にどれだけ還元出来るか分かりませんが、皆さまに教えて頂きながら、前に進んでいこうと思っております。

これからも宜しくお願い致します。ありがとうございました。
(記：野路政子)



穂高・焼岳を望む

例会山行 1

台高山脈 高見山 1,248.4m

【日 程】2月12日(日) 曇り

【参加者】CL 多賀・AL 田中悦・ASL 藤井・BL 辻・BSL 林・勝尾・杉村・亀高・船江・中・杉森 (計 11 名)

【コースタイム】杉谷登山口(9:20)～小峠(10:40)～杉谷・平野分岐(11:07/35)～高見山山頂(12:10/20)～杉谷・平野分岐(12:55)～高見杉小屋(13:30/55 昼食)～平野登山口(14:35)



集合場所の榛原駅前は、霧氷号バス待ちの登山客で既に長い列。週半ばから低気圧の連続だったので、たっぷりの雪に期待しながらバスに乗り込んだ。

バスを降りトイレを済ませて、雨具・スパッツ・アイゼンを装着。A班B班と2班に分かれ登山開始。登山口から期待通りの雪。大勢の登山客のおかげで、しっかりトレースはついている。渋滞予想の為、当初予定の大峠経由コースを、小峠から分岐へ登り、分岐から山頂ピストンに

変更することになった。気温はマイナス4度。歩き始めからタップリの雪は真っ白ふわふわ。アイゼンが雪をしっかりと掴み、踏みしめる感触が心地よい。旧伊勢南街道を小峠へ向かう。展望のある所から見える山や木々は雪に覆われ、墨絵のように美しい。小峠の鳥居をくぐり石段を登り、分岐までは急登。木々に凍り付く霧氷の美しさが、急登のしんどさを和らげてくれる。分岐から山頂までは、下山の登山者との譲り合いで渋滞もあった。山頂が近づくにつれ至る所に立派な霧氷が現れ、大きく成長したものはエビの尻尾というより、羽を広げた翼のようで wonderful。ここはホントに奈良？と思うような白銀の世界に感動。山頂では覚悟していた強風も無かったが混雑していた為、早々に記念撮影しB班から下山開始。高見杉小屋に着いて昼食をとり、小屋を発つ頃には雪が降り始めた。平野登山口までのルートで、何箇所か鉄製金網の板が設置されている所があり、アイゼンの歯がはまって抜けず難儀した。転倒の危険もあるので注意が必要。雪タップリで満腹の山行でした。(記：船江照代)



運営委員会だより

【日 時】2017年1月15日(日) 13:30~15:00 事務所
【出席者】島崎・辻・勝尾・藤本・杉村・橋本・今井・亀高

1. 教育部活動

- 本年度活動の報告、反省点及び来年度の方針。
歩荷訓練ができなかったが、岩稜歩行訓練では成果があった。
- 本年度は藤本さんが中心となり活動してきたが、今後継続的に活動していく事を踏まえ又一人の負担にならない為にも、来年度より県連初級登山学校（ハイキングリーダー学校）修了生も加わり活動していく様にしていきたい。
- 本会の登山レベルが高くなりつつあるので、会として県連に要請し岩稜基礎訓練（3級程度）を行う様検討して行く。

2. 会報の編集・発行及び HP の編集・運営に関する事項について

改定案の検討

3. 公開山行について（前回運営委員会の検討継続事項）

一般公募はしない。HPにも掲載せず会員の知人の方の参加のみとし、例年通り4月、11月に実施する。

4. 「西大和つうしん」報告書作成負担の件

「西大和つうしん」の報告書に負担を感じる人がいるが、書式や体裁は問わず最低限のデータ（参加者・コースタイムなど）と数行の感想文でも可能。

5. 来期夏山山行について

- 1月室内例会で夏山山行のリーダーになって頂ける方を募る。
- 2月15日ぐらいまでに計画を会長まで提出してもらい日程の調整等行う。
- 2月室内例会時に公表する。

6. 来期例会山行について

山行管理者の方で例会山行リーダー、山行スケジュールを決めていく。次回は3月11日運営委員会にて、議案書(案)の検討をする。

(記：橋本紀子)

室内例会だより

【日 時】2017年1月25日(日) 19:30~21:30 事務所
【出席者】都築、藤井、多賀、田中悦、島崎、田中初、村田、林、辻、勝尾、藤本、高橋、橋本、今井、亀高、船江、中、杉森、上田

1. 山行計画

- 2月12日(日) 例会山行1 台高山脈《高見山 1,248.4m》……………L 多賀
- 2月18日(土) 例会山行3(第11回教育山行)本年度の卒業山行・行先未定…L 杉川
- 2月16日(木) 座学「雪山登山ミーティング」於:事務所 19:30~……………講師:藤本
- 2月26日(日) 例会山行2 鈴鹿山系《竜ヶ岳 1,099.6m》……………L 島崎
- 3月5日(日) 例会山行1 比良の山《堂満岳 1,057m》……………L 辻
- 3月12日(日) 例会山行2 中国山地《千ヶ峰 1,005.2m》……………L 田中悦

2. 山行報告

- 12月18日 例会山行1 鈴鹿の山《三子山~四方草山 650m》L 藤井……………10名
- 12月23日 県連雪山登山学校参加者対象 ルートファインディング山行
台高山脈 高見山北尾根 CL 中武(奈良労山)……西大和2+他会4/合計 6名
- 1月1日 初日の出山行 王寺周辺の山《明神山》L 都築……………4名
- 1月7日 例会山行1 六甲山系《再度山 470m》L 島崎……………8名

3. 連絡その他

★県連関係

- ・テーピング講習会(女性委員会主催)

【日時】2017年2月18日(土)15:00~ 於:陽養鍼灸整骨院(JR 奈良駅西すぐ)

【参加費】650円(テープ代)

参加予定:上田さん・永井さん。他の参加希望者は今井さんまで連絡のこと。

★本会より

- ・公開山行について、運営委員会にて協議、決定された内容を報告。
「来期から会員が紹介する人(知人、家族など)の方のみの参加とし例年通り行う」
(協議の経過内容は、運営委員会だより〔12/25及び1/15〕に掲載)

この決定に関し下記の意見が出た。

- ① 会員の知人のみの参加では、公開山行ではなく自主山行の形態になってしまう。止めるか、継続するか決めた方がよいのではないか。
- ② ハイキング程度の行程にしては。
- ③ 山行の体力レベルの表示をしては。
- ④ 以前は「公開山行をする時は覚悟と責任を持つ」との心構えで取り組んできた。
- ⑤ 会員を増やす手段が HP のみになってしまう。公開山行を止めると会員を増やしていく事を今後どのように考えていけばいいのか?
- ⑥ 地域外の参加の方が多く、本会規約(第3章第7条④地域の活動を盛んにし、山や自然に親しむ諸活動)に掲げている地域に根ざした山行になっていない。
- ⑦ 一般参加者の事故が発生した場合会として対処できるか、又その家族と問題が生じることも考えられるのでは。

藤本さんからは、「奈良労山の2団体の公開山行の取り組み方は、単に募集するのではなく、必ず教育とセットで募集されている」と紹介があった。

【結論】公開山行に関して再度検討して行くが、来年度は一般新聞紙上での公募は行わず、知人・家族の範囲内で実施する。

- ・「西大和つうしん」の山行報告について

山行の記録文を書くことを負担に思っている方もおられるが、簡単な感想でいいので体裁にこだわらず書いて頂きたい。(1/15 運営委員会だよりにも記載)

(記:橋本紀子)

西大和つうしん

第417号（2017年3月号）

2017年2月22日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>